

令和2年度岩瀬日本大学高等学校自己評価結果及び外部評価

本校の目指す学校像	生徒のもつ生きる力(一人ひとりが「夢＝やりたいこと」を見つけ、それを持続続ける力)を育む。そのために、一人ひとりを大切に、「わかった」「できた」喜びを実感できるわかる授業の展開、教育環境の美化に努め、進路指導の充実、生徒会活動・委員会活動・部活動の充実を図る。
-----------	--

本校の特長及び課題	日本大学の付属としてのメリットを活かした日本大学への推薦入学をはじめ、国公立大学、私立大学への進学でも高い現役大学進学率を誇っている。そのことは徐々に地域でも理解されている。しかし、生徒の学力は付属校25校の中で下位に位置し、大学進学後に必要な学力の達成度が不十分であり、学力向上に努める必要がある。また、少子化が加速した公立高校志向の強い地域であるため、広域からの生徒確保に向けて進学以外の更なる魅力ある学校づくりが必要である。
-----------	---

令和2年度の取り組み重点項目

<p>今年度は、新型コロナウイルスのパンデミックのため昨年度末から5月まで休校となった。また、感染拡大防止の立場から様々な行事が中止となり、例年立てている教育目標が達成できない懸念がある。オンライン授業や代替えの行事など工夫を試み学校全体が新しいことにチャレンジする年となる。そのような中でも次の学力向上と進路の実現の目標は譲れない目標である。</p> <p>学力向上の実現のために教員の授業改善と生徒の意識改革の2本柱を目標に掲げ取り組む。まず、教員の授業改善では、研究授業を実施し、また、アクティブラーナー育成のための研修会、ICT活用教育の研修を実施する。</p> <p>進路指導では、日本大学の推薦入試制度による進学は、95名(74.8%昨年度実績)以上を目標に、生徒一人一人に寄り添った進路指導の実現。国立公立大学を目指すクラスは、国公立大学等合格率50%以上を目標に、1年時の基礎学力の定着、2年3年時には応用力の習得を目指し、放課後8時までの指導を行う。</p> <p>特別活動では、部活動や生徒会活動に制限がかかる中、ICTを活用した新しい形の運営を模索する。また、すべての生徒が安心安全な学校生活を送れるように学校生活環境を整え、特に問題となっている「いじめ」については、「いじめ防止対策室」継続して運営し、定期的に委員会を開き、いじめの予防に努める。</p> <p>入試広報活動では、オンラインを活用した生徒の募集活動を積極的に行い、本校の魅力を県内に発信する工夫と努力に全力を注ぐ。</p>
--

令和2年度の取り組み結果

<p>学力向上の面では、休校中のオンライン授業が功を奏し、例年と変わらない学習進度を確保できた。また、ICT活用教育の推進のための施設のインフラ整備も行われ、校内のWIFI環境が整い、コロナ禍の中、アクティブラーニングなどグループ学習が制限される中、ICT機器を使用し、生徒が主体的に活動する指導方法の試行錯誤が行われ、公開授業での発表や月に1回の教員研修会も実施された。国立クラスでも外部模試の成績で近隣の進学校の平均を上回るなど地道な学習指導の効果が始まっている。</p> <p>進路面では、日本大学への推薦数を115名として年度当初の目標を達成している。また、国立クラスでも推薦で茨城大学1名、高崎経済大学1名、群馬県立女子大学1名の合格を決めており、今後の試験の結果に期待したい。</p> <p>学校生活では、生徒に対して学校生活アンケートやいじめアンケートを実施し、今まで以上に生徒の現状把握に努め、いじめ等の問題をはじめ様々な生徒の悩みに早期に組織的に対応した。部活動では、コロナ禍の中多くの大会が中止となり、校内活動やオンライン活動に制限される中、卓球部は全国選抜大会出場を決め、ソーシャルメディア部は、新聞部門、放送部門で来年の全国総文祭出場が決まった。</p> <p>生徒会活動では、多くの学校行事が中止され、生徒の自主性を育む教育ができない状態にあるが唯一実施された体育祭では1年生から3年生までクラスの名誉をかけて熱戦が繰り広げられた。地域との交流は、感染拡大防止の観点から予定されていた行事はすべて中止となったが、茨城の魅力発信するコンテスト等に作品を応募し昨年同様に入賞を果たしている。また、通常の日常に戻ったときに備えて各部活とも鍛錬を積んでいる。</p>
--

自己評価結果(総合)

総合

評価基準: A(よくできている), B(できている), C(あまりできていない), D(できていない)

B

(1) 学力向上に関する事項

① 授業に関する項目	評価項目	B
① 授業に関する項目	評価項目 (1)指導目標は十分達成されているか。 (2)教科の目標・指導内容・評価計画等を明確にした年間指導計画を作成しているか。 (3)生徒一人一人が主体的に学習に取り組む工夫がなされているか。 (4)生徒個々に合わせた指導を行っているか。 (5)適切な成績・進級判定ができていないか。 (6)生徒に満足される授業ができていないか。	B
② 学習環境および連携に関する項目	評価項目 (1)施設・設備は教育活動に支障がないか。 (2)各コースにあったカリキュラム編成ができていないか。 (3)1クラスの人数は適正であるか。 (4)生徒の学習、課外活動に対して、図書室等の施設、運営は有効に機能しているか。 (5)生徒の成績や学習状況が把握され、その情報が共有されているか。 (6)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され、統一された指導がなされているか。	B
③ 成績管理および教員研修に関する項目	評価項目 (1)生徒の個人情報の管理および生徒指導要録の記入、指導、点検、保管は的確になされているか。 (2)教員の資質向上のために自己研修に努めているか。 (3)授業改善に向けた組織的な取り組みや工夫がなされているか。 (4)校内・校外への研修参加を奨励したり研究紀要へ投稿を促す等、教職員の資質の向上に配慮しているか。	B

(2) 学校生活に関する事項

① 学年および学級運営に関する項目	<p>評価項目(資料3, 資料4及び資料5参照)</p> <p>(1) 学年・学級の目標, 指導計画を明確に示され, 運営されていたか。また, その反省を行ったか。</p> <p>(2) LHRの時間が計画的に運営されていたか。また, その反省を行ったか。</p> <p>(3) 学年の役割分担を果たし, 組織の一役を担っているか。</p> <p>(4) 学校行事等に計画的, 積極的に参加する指導ができたか。また, 事後指導ができたか。</p> <p>(5) 生徒の健康や生活状況が把握され, その情報を共有し指導できたか。</p> <p>(6) 生徒の成績や学習状況が把握され, その情報が共有され指導できたか。</p> <p>(7) 問題を抱える生徒への指導方針が共有化され, 指導できたか。</p>	A
② 学校生活に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1) 多様化する生徒を適切に指導する組織体制が整えられているか。</p> <p>(2) 生徒の人権や個性を尊重し, 生徒の実態に即した指導がなされているか。</p> <p>(3) 家庭・地域・関係諸機関との連絡・連携は適切に行われているか。</p> <p>(4) 生徒は生き生きと学校生活を送っているか。</p> <p>(5) 中退者を出さないための工夫・取り組みはなされているか。</p> <p>(6) 生徒との信頼関係を築くことが出来たか。</p> <p>(7) どの生徒にも公平に接し, 指導できたか。</p> <p>(8) 基本的な生活習慣を身につけさせるための指導は適切であったか。</p>	B

(3) 進路指導に関する事項

① 学校組織としての進路指導に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1) 生徒の特性を考慮し, 進路希望を踏まえた年間指導計画を作成しているか。</p> <p>(2) 入学から卒業までを見通した系統的な指導計画を作成しているか。</p> <p>(3) 生徒の進路選択に役立ち, 関心・意欲を高める工夫がなされているか。</p> <p>(4) 生徒の体験的な活動を積極的に取り入れているか。</p> <p>(5) 生徒や保護者に対して, 学校が持っている情報を適切に伝えているか。また, わかりやすく伝達する工夫がなされているか。</p> <p>(6) 生徒の進路選択にあたり, 生徒や父母等の意見要望を十分に把握し, 尊重するように努めているか。</p> <p>(7) 生徒の情報収集のための施設・設備は十分かつ適切に配置されているか。</p> <p>(8) 進学や就職のみでなく, 職業観を成就させる指導に努めているか。</p> <p>(9) 学校行事に進路行事が適切に計画されているか。</p> <p>(10) 実力テスト等外部模試が生徒の実態にあって実施され, 活用されているか。</p> <p>(11) 進路目標を達成することができたか。</p>	B
② 教員個々の進路指導への関わりに関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1) 生徒の個性・適性・希望・能力に応じた指導ができたか。</p> <p>(2) 生徒の進路選択のために, きめ細やかな情報提供を行ったか。</p> <p>(3) 保護者とのコミュニケーションは円滑に行われたか。</p> <p>(4) 小論文, 志望理由書など事前指導が十分できたか。</p> <p>(5) 三者面談や保護者会などで生徒や保護者の意見, 要望の把握に努めたか。</p> <p>(6) 出願等の生徒の進路に関わる書類等の作成や指導が適切に行えたか。</p>	B

(4) 生徒会・部活動に関する事項

① 生徒会・部活動やボランティア活動に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1) 生徒会活動に対する指導は, 適切に実施されているか。</p> <p>(2) 生徒の意見を取り入れながら生徒会活動を活性化させ, 学校の改善に役立てているか。</p> <p>(3) 生徒会活動では, ボランティア活動や交流活動を行うなど自主性, 社会性を育むような工夫がなされているか。</p> <p>(4) 生徒会活動を通して, 自主性, 自立性を高め, 豊かな人間関係を育成する工夫をしているか。</p> <p>(5) 生徒会が自主的に部活動や学校行事を運営するなど, その活動を活性化するような工夫をしているか。</p> <p>(6) 学校行事では校風や教育目標を理解し, 特色を出すような工夫や改善を図っているか。</p> <p>(7) クラブ活動等, 課外活動は活発に行われているか。</p> <p>(8) クラブ活動等, 課外活動の指導体制は適切であるか。</p> <p>(9) 生徒会活動, クラブ活動を行うのに十分な施設や設備は整えられているか。</p> <p>(10) 生徒会費の活用を適正に行われているか。</p>	B
② 課外活動	<p>評価項目</p> <p>(1) 活動の間, 常に立ち会うように努めたか。</p> <p>(2) 生徒の意識や状況を踏まえ, 自立的・意欲的な活動の推進に努めたか。</p> <p>(3) 生徒の能力に配慮して指導を進めたか。</p> <p>(4) 保護者とのコミュニケーションは十分にとれているか。</p> <p>(5) 生徒の出欠席等の状況を把握し, 適切な指導を行ったか。</p> <p>(6) 目標を達成または, 満足できる成果を上げることができたか。</p>	B

令和2年度岩瀬日本大学高等学校外部評価結果報告書

1. 令和2年度外部評価委員会の実施状況

本年度は、コロナ禍のため、委員一同が集まることをせず、文書の連絡等で評価して頂きました

- ①日時 令和2年2月22日(金)～3月6日(土)まで
- ②場所 今年度は文書のやり取りのため、学校へ来校されることはありませんでした。
- ③回答者 (12名)

委員 鈴木礼子(父母と教師の会会長)、鈴木清光(元青少年育成会議岩瀬支部長;地区有識者)、福留洋明(同窓会)、青木匡尚(体育後援会会長)、真崎 剛(桜川支部)、川端 篤(下館支部)、長澤将也(北つくば支部)、黒須 武(県西支部)、永井きみ江(ときわ支部)、橋本愛恵(栃木支部)、高野健治(OB警察官)、橋本孝之(岩瀬東中学校校長)

2. 評価事項

令和2年度の外部評価事項は、本校の教育活動を次の4項目に大分類した。

- ①学力向上に関わる事項
- ②学校生活に関わる事項
- ③進路指導に関わる事項
- ④生徒会・部活動に関わる事項

3. 外部評価方法及び評価基準

学校の教育活動の観察や教育活動に関する質疑応答を通し、本校の自己評価結果(自己評価基準A:よくできている、B:できている、C:あまりできていない、D:できていない)が適切であったかを3段階(「もっと高い評価をすべき」、「校内評価は適切である」、「もっと厳しい評価をすべき」)で評価する。

4. 評価に使用した参考資料

- ①令和2年度岩瀬日本大学高等学校自己評価結果及び外部評価票
- ②各種アンケート結果:
 - ・学校自己点検アンケート(本校の専任教員の教科別、学年別に集計したもの)
 - ・教員自己評価アンケート(本校の全教員が、自分が関わった教育事項について回答たものの集計)
 - ・生徒授業アンケート、高校生活アンケート(学校生活や授業について全校生徒が回答したもの;9月、12月実施)
- ③到達度テスト分析結果
- ④令和2年度進路状況
- ⑤本校広報誌「桜真」、入試広報誌「岩日だより」、新聞部「岩日タイムズ」

5. 外部評価結果

総合

自己評価結果は適切である。

(1) 学力向上に関する事項

① 授業に関する項目	評価項目 (1)指導目標は十分達成されているか。 (2)教科の目標・指導内容・評価計画等を明確にした年間指導計画を作成しているか。 (3)生徒一人一人が主体的に学習に取り組む工夫がなされているか。 (4)生徒個々に合わせた指導を行っているか。 (5)適切な成績・進級判定ができているか。 (6)生徒に満足される授業ができているか。	適切
② 学習環境および連携に関する項目	評価項目 (1)施設・設備は教育活動に支障がないか。 (2)各コースにあったカリキュラム編成ができているか。 (3)1クラスの人数は適正であるか。 (4)生徒の学習、課外活動に対して、図書室等の施設、運営は有効に機能しているか。 (5)生徒の成績や学習状況が把握され、その情報が共有されているか。 (6)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され、統一された指導がなされているか。	適切
③ 成績管理および教員研修に関する項目	評価項目 (1)生徒の個人情報の管理および生徒指導要録の記入、指導、点検、保管は的確になされているか。 (2)教員の資質向上のために自己研修に努めているか。 (3)授業改善に向けた組織的な取り組みや工夫がされているか。 (4)校内・校外への研修参加を奨励したり研究紀要へ出稿を促す等、教職員の資質の向上に配慮しているか。	適切

(2) 学校生活に関する事項

① 学年および学級運営に関する項目	<p>評価項目(資料3, 資料4及び資料5参照)</p> <p>(1)学年・学級の目標, 指導計画を明確に示され, 運営されていたか。また, その反省を行ったか。</p> <p>(2)LHRの時間が計画的に運営されていたか。また, その反省を行ったか。</p> <p>(3)学年の役割分担を果たし, 組織の一役を担っているか。</p> <p>(4)学校行事等に計画的, 積極的に参加する指導ができたか。また, 事後指導ができたか。</p> <p>(5)生徒の健康や生活状況が把握され, その情報を共有し指導できたか。</p> <p>(6)生徒の成績や学習状況が把握され, その情報が共有され指導できたか。</p> <p>(7)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され, 指導できたか。</p>	適切
② 学校生活に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)多様化する生徒を適切に指導する組織体制が整えられているか。</p> <p>(2)生徒の人権や個性を尊重し, 生徒の実態に即した指導がなされているか。</p> <p>(3)家庭・地域・関係諸機関との連絡・連携は適切に行われているか。</p> <p>(4)生徒は生き生きと学校生活を送っているか。</p> <p>(5)中退者を出さないための工夫・取り組みはなされているか。</p> <p>(6)生徒との信頼関係を築くことが出来たか。</p> <p>(7)どの生徒にも公平に接し, 指導できたか。</p> <p>(8)基本的な生活習慣を身につけさせるための指導は適切であったか。</p>	適切

(3) 進路指導に関する事項

① 学校組織としての進路指導に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒の特性を考慮し, 進路希望を踏まえた年間指導計画を作成しているか。</p> <p>(2)入学から卒業までを見通した系統的な指導計画を作成しているか。</p> <p>(3)生徒の進路選択に役立ち, 関心・意欲を高める工夫がなされているか。</p> <p>(4)生徒の体験的な活動を積極的に取り入れているか。</p> <p>(5)生徒や保護者に対して, 学校が持っている情報を適切に伝えているか。また, わかりやすく伝達する工夫がなされているか。</p> <p>(6)生徒の進路選択にあたり, 生徒や父母等の意見要望を十分に把握し, 尊重するように努めているか。</p> <p>(7)生徒の情報収集のための施設・設備は十分かつ適切に配置されているのか。</p> <p>(8)進学や就職のみでなく, 職業観を成就させる指導に努めているか。</p> <p>(9)学校行事に進路行事が適切に計画されているか。</p> <p>(10)実力テスト等外部模試が生徒の実態にあって実施され, 活用されているか。</p> <p>(11)進路目標を達成することができたか。</p>	適切
② 教員個々の進路指導への関わりに関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒の個性・適性・希望・能力に応じた指導ができたか。</p> <p>(2)生徒の進路選択のために, きめ細やかな情報提供を行ったか。</p> <p>(3)保護者とのコミュニケーションは円滑に行われたか。</p> <p>(4)小論文, 志望理由書など事前指導が十分できたか。</p> <p>(5)三者面談や保護者会などで生徒や保護者の意見, 要望の把握に努めたか。</p> <p>(6)出願等の生徒の進路に関わる書類等の作成や指導が適切に行えたか。</p>	適切

(4) 生徒会・部活動に関する事項

① 生徒会・部活動やボランティア活動に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒会活動に対する指導は, 適切に実施されているか。</p> <p>(2)生徒の意見を取り入れながら生徒会活動を活性化させ, 学校の改善に役立てているか。</p> <p>(3)生徒会活動では, ボランティア活動や交流活動を行うなど自主性, 社会性を育むような工夫がなされているか。</p> <p>(4)生徒会活動を通して, 自主性, 自立性を高め, 豊かな人間関係を育成する工夫をしているか。</p> <p>(5)生徒会が自主的に部活動や学校行事を運営するなど, その活動を活性化するような工夫をしているか。</p> <p>(6)学校行事では校風や教育目標を理解し, 特色を出すような工夫や改善を図っているか。</p> <p>(7)クラブ活動等, 課外活動は活発に行われているか。</p> <p>(8)クラブ活動等, 課外活動の指導体制は適切であるか。</p> <p>(9)生徒会活動, クラブ活動を行うのに十分な施設や設備は整えられているか。</p> <p>(10)生徒会費の活用を適正に行われているか。</p>	適切
② 課外活動	<p>評価項目</p> <p>(1)活動の間, 常に立ち会うように努めたか。</p> <p>(2)生徒の意識や状況を踏まえ, 自立的・意欲的な活動の推進に努めたか。</p> <p>(3)生徒の能力に配慮して指導を進めたか。</p> <p>(4)保護者とのコミュニケーションは十分にとれているか。</p> <p>(5)生徒の出欠席等の状況を把握し, 適切な指導を行ったか。</p> <p>(6)目標を達成または, 満足できる成果を上げることができたか。</p>	適切